

平成28年度

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート	報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄	報告年月日: 2017/3/31
----------------------------	------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
「ビューポイントパワーアップ」プロジェクト	どうなん追分シーニック清掃活動(江差椴川沿清掃活動)	どうなん追分SBWR (江差観光コンベンション協会・江差商工会・歴まち商店街協同組合)	平成28年4月17日 ※シーニック清掃活動 期間4/15~4/29	40名 ・主催者 30名 ・一般参加 10名	A - 1	日本海側の冬の強風たば風により漂流ゴミをはじめとして不法投棄も多い。景観が美しいところだけに清掃後は見違えるように綺麗になる海岸線。国道沿いということもあり安全性の面からも清掃の重要性を感じる活動。	
	どうなん追分シーニック清掃活動(木古内R228沿清掃活動)	どうなん追分SBWR (木古内町観光協会・木古内商工会・咸臨丸とサラキ岬に夢みる会他)	平成28年4月24日 ※シーニック清掃活動 期間4/15~4/29	35名 ・主催者 25名 ・一般参加 10名	A - 1	北海道新幹線が開業し北海道の入口となった木古内町の国道を中心に観光エリア4ヶ所を清掃。駐車場等に捨てていったようなゴミが多くモラルの向上が課題とされる。	
	サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動(サラキ岬球根掘起し)	咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会・木古内商工会	平成28年7月31日(日)	50名 ・主催者 30名 ・一般参加 20名	A - 2	木古内町の国道228号沿いサラキ岬で5月のチューリップフェアに向けて約5万球のチューリップの掘り起こしを行う。かなりの重労働だが年々多くの作業員の助けがあり5月の沿道に咲く花畑が楽しみと関わったほとんどの人が見に来てくれる。	
	サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動(サラキ岬球根植え)	咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会・木古内商工会	平成28年10月29日(土)	90名 ・主催者 40名 ・一般参加 50名	A - 2	木古内町の国道228号線沿サラキ岬で5月のチューリップフェアに向けて約5万球のチューリップの球根植えを行う。種類が80種類と多量もあって、こちらかなりの重労働だが年々多くの作業員の助けがあり5月の沿道に咲く花畑が楽しみと関わったほとんどの人が見に来てくれる。	
	いにしえ街道のとりくみ(第6回江差北前のひな語り)	北前ひな語り実行委員会・歴まち商店街協同組合	平成28年2月4日(土) ~3月20日(月)	1600名 ・活動団体 200名 ・一般参加 1400名	C - 1	街歩き体験や着物着付け体験、新しくできたお店「木どりやカンナヅキ」での木工体験など、いにしえの街並みの中歴史を学びながら職人体験をしながら街並みに彩られた真つ赤な毛氈の雛人形の景観を楽しむ。	
	道南エリアルート四季のフォトコンテスト	どうなん追分SBWR 函館大沼噴火湾R	平成28年8月1日~平成29年2月28日フォトコンテスト応募期間。 審査会平成29年3月17日	・参加人数 48名 ・応募作品数 178点 ・入賞作品 31点 ・審査員 10名 関係者 4名	A - 3	道南地域に今年新幹線が開業し、新たな美しい景観の発見やPRが益々重要化する。そこでフォトコンテストを開催し、たくさんの人の視点から新たな景観発見につなげ、周遊誘導を図っていく。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート	報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄	報告年月日: 2017/3/31
----------------------------	------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観 ・ビュースポットの発信と維持活動	「どうなん追分シーニックdeナイト」プロジェクト	どうなん追分シーニックdeナイト (木古内チューリップフェア2016)	チューリップフェア実行委員会 (咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・ 木古内町観光協会・木古内商工 会)	平成28年5月3日～15日 シーニックdeナイト 5月4日予定 悪天候により中止			
		どうなん追分シーニックdeナイト (奥尻ムーンライトマラソン)	奥尻ムーンライトマラソン実行委 員会(奥尻商工会・奥尻島観光 協会)	平成28年6月18日(土) シーニックdeナイト今回実施なし			
		どうなん追分シーニックdeナイト (かがり火コンサート)	かがり火コンサート実行委員会 (福島町商工会・福島町観光協 会)	今年度実施なし			
		どうなん追分シーニックdeナイト (松前あじさいまつり)	松前あじさいまつり実行委員会 (松前観光協会・松前商工会)	平成28年8月4日(木) シーニックdeナイトTV取材の人 員不足のため実施なし			
		どうなん追分シーニックdeナイト (江差夕焼けコンサート・ガイアナイト 2016)	江差歴まち商店街協同組合 (江差商工会・江差観光コンベン ション協会)	平成28年7月27日(水) シーニックdeナイト悪天候により 中止			
		どうなん追分シーニックdeナイト (咸臨丸フォーエバー2016)	咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・ 木古内町観光協会・木古内商工 会	今年度実施なし			
		どうなん追分シーニックdeナイト (キャンドル製作会)	木古内町観光協会・上ノ国観光 協会・木古内商工会ほか	平成28年12月18日(日)	90名 ・主催者 40名 ・一般参加 50名	A - 4	木古内保育園にてワックスキャンドルの製作会 をルート主催として初めて行った。12/24上ノ国 町・1/14木古内町で開催されるどうなん追分 シーニックdeナイトのキャンドルづくりが今回の 主な目的だったがあまりでつなぐ連帯感を育む ものとしていく。
		どうなん追分シーニックdeナイト(上ノ国 町キャンドル点灯式)	上ノ国町観光協会・エゾ地の火 まつり実行委員会	平成28年12月24日(土)	100名 ・主催者 20名 ・一般参加 80名	A - 4	クリスマスイブの夜にワックスキャンドルを道の 駅上ノ国もんじゅに飾り、あかりを楽しんだ。今 年も参加した子供たちにプレゼントや温かい飲 物、特製のそばやラーメン等が用意され、沢山 の人たちと楽しむことができた。
		どうなん追分シーニックdeナイト (江差年越し)	江差歴まち商店街協同組合 (江差商工会・江差観光コンベン ション協会)	平成28年12月31日(土)	210名 ・主催者 10名 ・一般参加 200名		毎年恒例だが 人が一時に押し寄せるため姥神 大神宮前の正面通路のほんの数メートルのど ころで開催している。
		どうなん追分シーニックdeナイト(みそ ぎ祭りみそぎキャンドル)	木古内町観光協会 (木古内商工会ほか)	平成29年1月14日(土)	440名 ・主催者 40名 ・一般参加 400名	A - 4	今年はワックスキャンドル200本作成し、佐女川 神社の参道を美しくキャンドルの灯りが照ら した。また、みそぎ行列には今までにないほど多 くの参列者でにぎわい新幹線開業後初めてのみ そぎ祭りを大いに引き立てた。
どうなん追分シーニックdeナイト (6町同時開催イベント)	厚沢部町観光協会・江差観光コン ベンション協会・奥尻島観光協会・ 上ノ国町観光協会・道の駅北前 船松前・木古内町観光協会ほか	平成29年2月18日(土)	175名 ・主催者 30名 ・一般参加 145名	A - 4	今回初めて、同日同時開催を6町6ヶ所で「キャ ンドルのあかりがつなぐ道」と題して行った。生 憎の悪天候の日となり、当初の予定どおりの設 置は叶わなかったものの、6町であかりを灯すこ とはできた。		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート		報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄					報告年月日: 2017/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
地域づくり	「どうなんフットパス・ロード」プロジェクト	第22回殿様街道探訪ウォーク春	福島町千軒地域活性化実行委員会(福島町観光協会)	平成28年5月1日(日)	95名 ・主催者 40名 ・一般参加 55名	B - 1	今回のテーマは「伊能忠敬の道」散策するポイント数箇所テーマや殿様街道に纏わる歴史の勉強、研究をしながら山道を歩く。この時期には珍しく温かかったので春の花が開花しており植物を大いに楽しめた。	
		第13回学習会(総会時)	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成28年6月16日(木)	28名	B - 2	各地域で現状と取り組んでいるおもてなし・ガイド体制・体験観光について活動団体の各町から代表1名づつにお話してもらい、それらをとりまとめ、情報共有しながら今後の連携等を考えていく。	
		津軽ヒバサミットin津軽	津軽地域NPO団体	平成28年10月1日～2日 今年度は一部活動団体のみ参加	300名 ・主催者 20名 ・一般参加 280名			2015年開催は江差町でどうなん追分SBWとしても協力したが今回は津軽での開催ということもあり一部活動団体のみ参加。3年間開催で今年度で終了。来年度はまた新たな青函交流を推進の予定。
		第14回学習会(全体会議時)	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成28年11月30日(水)	39名	B - 2	北海道運輸局函館運輸局より講師をお招きし「外国人のひとり歩き受入マニュアル」について説明いただき、行政で用意している既存のツールにより外国人の対応を言葉を超えてできる方策を提案、意見交換をした。	
		第23回殿様街道探訪ウォーク秋	福島町千軒地域活性化実行委員会(福島町観光協会)	平成28年10月23日(日)	75名 ・主催者 40名 ・一般参加 35名	B - 1	今回のテーマは「北海道の名付け親 松浦武四郎の道」の学習をポイントでしながら散策を進めた。散策後は千軒蕎麦を食し、松前神楽を觀賞する。それぞれ毎回違う味があるので何度も足を運びたくなるメニューの工夫をしている。	
		マップ制作	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議					今までの学習会・ワークショップでの意見をとりまとめマップ制作をする予定だったが今年度は概要のとりまとめとなった
	「歴史の道掘り起こし」プロジェクト	上ノ国町夷王山まつり「天の川と戦国時代の山城を訪ねる道」	上ノ国町観光協会	平成28年6月19日(日)	30名 ・主催者 10名 ・一般参加者 20名			新日本歩道紀行100選に平成27年指定になった「天の川と戦国時代の山城を訪ねる道」を2時間余りで散策。歴史の深さを満喫できるコースとなっている。殿様街道のように魅力ある歴史の道として定着するよう活動する。
		第13回学習会(総会時)	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成28年6月16日(木)	28名	B - 2	各地域で現状と取り組んでいるおもてなし・ガイド体制・体験観光について活動団体の各町から代表1名づつにお話してもらい、それらをとりまとめ、情報共有しながら今後の連携等を考えていく。	
		第14回学習会(全体会議時)	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成28年11月30日(水)	39名	B - 2	北海道運輸局函館運輸局より講師をお招きし「外国人のひとり歩き受入マニュアル」について説明いただき、行政で用意している既存のツールにより外国人の対応を言葉を超えてできる方策を提案、意見交換をした。	
		マップ制作	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議					今までの学習会・ワークショップでの意見をとりまとめマップ制作をする予定だったが今年度は概要のとりまとめとなった
	交流人口を高める人材の育成	「おもてなしガイド」プロジェクト	第13回学習会(総会時)	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成28年6月16日(木)	28名	B - 2	各地域で現状と取り組んでいるおもてなし・ガイド体制・体験観光について活動団体の各町から代表1名づつにお話してもらい、それらをとりまとめ、情報共有しながら今後の連携等を考えていく。
			第14回学習会(全体会議時)	どうなん追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成28年11月30日(水)	39名	B - 2	北海道運輸局函館運輸局より講師をお招きし「外国人のひとり歩き受入マニュアル」について説明いただき、行政で用意している既存のツールにより外国人の対応を言葉を超えてできる方策を提案、意見交換をした。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウエイルート	報告者: どうなん追分シーニックバイウエイ代表 北島孝雄	報告年月日: 2017/3/31
----------------------------	------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
・情報共有と情報発信の相乗効果	-	FB(SNSの活用)	どうなん追分シーニックバイウエイルート運営代表者会議	随時	フォロワー448名		FBの中でイベントの告知やPR・シェアをしているがまだまだフォロワー数が足りないためアクセスが少ない。資金がかからず多くに告知できるツールとして益々の活用を模索していく。
		木古内町第一回道の駅まつり	木古内公益振興社(どうなん追分シーニックバイウエイルート運営代表者会議)	平成28年10月1日(土)・2日(日)	450名 ・主催者 50名 ・一般参加 400名		どうなん追分シーニックバイウエイブースを設置し、9町の景観写真展と「道南四季のフォトコンテスト」のPRをして、認知度を上げた。
		Welcome! シーニックバイウエイ北海道@チ・カ・ホ2016春	シーニックバイウエイ北海道推進協議会 協力: どうなん追分シーニックバイウエイルート等	平成28年5月16日(月)~22日(日)	約5,000名 ・主催者: 40名 ・一般参加: 5,000名		札幌駅前通地下歩行空間及び函館アリーナにて、タペストリーの展示や物販等によるルートのPRを実施。次年度以降も、積極的にルートのPRを行ってきたい。
		Welcome! シーニックバイウエイ北海道@チ・カ・ホ2016秋	シーニックバイウエイ北海道推進協議会 協力: どうなん追分シーニックバイウエイルート等	平成28年10月17日(月)~21日(金)	15名 ・主催者: 15名		
		Welcome! シーニックバイウエイ北海道@2017ふゆトピア・フェアin函館における物販	2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会 協力: どうなん追分シーニックバイウエイルート等	平成29年1月26日(木)~27日(金)	約390名 主催者: 20名 一般参加: 370名		
シーニックバイウエイ北海道 どうなん追分シーニックバイウエイルート&函館・大沼・噴火湾ルート 現地視察	2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会 協力: どうなん追分シーニックバイウエイルート等	平成28年6月4日(土)~5日(日)	約70名 主催者: 10名 一般参加: 60名	ルート活動に関する意見交換を実施。ルート審査委員より今後の活動の助言をいただいた。			
・北海道新幹線開業に向けた対応と取組	「どうなん追分シーニックdeナイト」プロジェクト	どうなん追分シーニックdeナイト(キャンドル製作会)	木古内町観光協会・上ノ国観光協会・木古内商工会ほか	平成28年12月18日(日)	90名 ・主催者 40名 ・一般参加 50名		今回初めて、同日同時開催を6町6ヶ所で「キャンドルのあかりがつなぐ道」と題して行った。生憎の悪天候の日となり、当初の予定どおりの設置は叶わなかったものの、6町であかりを灯すことはできた。
		北海道新幹線開業1周年プレイベント 灯火ライブ(どうなん追分シーニックdeナイト)	木古内観光協会	平成29年3月24日(金)	135名 ・主催者 15名 ・一般参加 120名		北海道新幹線が開業し1年たったことをお祝いし、キャンドルのあかりと懐かしい音楽でお祝いに彩りをそえた。
	「歴史の道掘り起こし」プロジェクト						
	「どうなんの食北のどんぶり」プロジェクト	北海道新幹線開業1周年記念 えきフェスinKIKONAI	道の駅みそぎの郷きこない(木古内公益振興社)	平成29年3月25日(土)~26日(日)	5240名 ・主催者 20名 ・一般参加 5220名		北海道新幹線が開業し1年たったことをお祝いし、東北6県とつながる物産フェア等を開催。予想以上の盛り上がりとなった。
観光	「どうなんの食北のどんぶり」プロジェクト	いにしえ街道のとりにくみ(江差いにしえ街道花嫁行列)	歴まち商店街協同組合(江差観光コンベンション協会・江差商工会)	平成28年5月3日(火)	3050名 ・主催者 50名 ・一般参加 3000名	C - 1	景観に合ったイベントを街ぐるみで工夫し、年々観光客が増えてきている。体験を今年度は着物の着付けで街歩きや木工体験等、街並にあった体験ができる参加体験型ともなっている。
		千軒そば花観賞会	福島町観光協会(福島町千軒地域活性化実行委員会)	平成28年8月28日(日)	180名 ・主催者 30名 ・一般参加 150名		千軒麓のそば畑に真っ白な花が満開になるころ開催されるイベントでは松前神楽の奏上を觀賞することや福島町の特産物を味わったり、じゃがいも掘り体験ができた。短時間のイベントで多様な体験ができる。
		いにしえ街道のとりにくみ(第6回江差北前のひな語り)	北前ひな語り実行委員会・歴まち商店街協同組合	平成29年2月4日(土)~3月20日(月)	1600名 ・主催者 200名 ・一般参加 1400名	C - 1	街歩き体験や着物着付け体験、新しくできたお店「木どりやカンナツキ」での木工体験など、いにしえの街並みの中歴史を学びながら職人体験をしながら街並みに彩られた真っ赤な毛氈の雛人形の景観を楽しむ。
・各地域の観光イベントの連携	-	どうなん追分シーニックdeナイト(6町同時開催イベント)	厚沢部町観光協会・江差観光コンベンション協会・奥尻島観光協会・上ノ国町観光協会・道の駅北前船松前・木古内町観光協会ほか	平成29年2月18日(土)	175名 ・主催者 30名 ・一般参加 145名	A - 4	今回初めて、同日同時開催を6町6ヶ所で「キャンドルのあかりがつなぐ道」と題して行った。生憎の悪天候の日となり、当初の予定どおりの設置は叶わなかったものの、6町であかりを灯すことはできた。

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①  
どうなん追分シーニック清掃活動

- 【概要】 GW道南地域に桜が咲く季節。観光客を迎えるためにGW前約2週間をシーニック清掃週間と位置づけルートで景観づくりをしている。江差町・木古内町での取組みが定着しており、ルートとして継続的な活動となってきている。今後は、より多く一般の人や他の地域の人たちの参加を促進し活動連携による拡大を推進したい。
- 【日時】 江差町 平成28年4月17日（日）・木古内町 平成28年4月24日（日）
- 【場所】 江差町椴川駐車場周辺（R228沿い）  
木古内町サラキ岬、みそぎ浜、大釜谷駐車場、木古内の坊（R228沿い）
- 【実施団体】 江差観光コンベンション協会 ・ 木古内町観光協会
- 【参加人数】 40名（主催者30名、一般参加10名）・35名（主催者25名、一般参加10名）



江差椴川 清掃中



江差椴川 清掃後



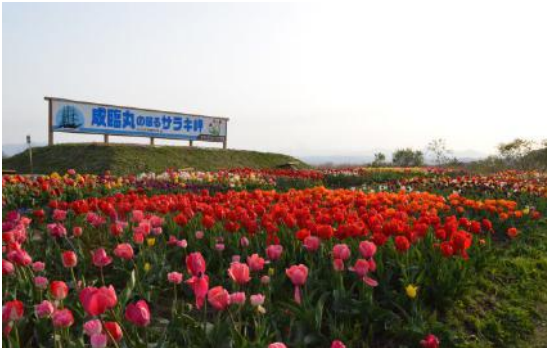
木古内サラキ岬 清掃中

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②  
木古内町サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動

- 【概要】 国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、オランダで作られた船であることからチューリップの植栽を行っている。5月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っており、道路景観づくり、地域づくりとして活動を推進している。
- 【日時】 チューリップフェア 平成28年5月3日～15日  
球根掘起し作業 平成28年7月31日 球根植え作業 平成28年10月29日
- 【場所】 木古内町サラキ岬
- 【主催】 咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会
- 【参加人数】 チューリップフェア 不明（主催者50名、一般参加約1500名）  
球根掘起し 50名（主催者30名 一般参加20名）  
球根植え 90名（主催者40名 一般参加50名）



チューリップフェア5月



球根掘起し作業 7月



球根植え作業 10月

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト③  
道南エリアルート四季のフォトコンテスト

- 【概要】 函館・大沼・噴火湾ルートとの連携により、道南2市13町エリアで北海道新幹線開業に合わせ新たな景勝地の再発見として開催。178点の応募があり10名の審査員により31点の入賞作品を選出し、ルートの活動としての活用や展示会等を次年度に予定。目標を越える作品の応募があり、出展者からも今後の継続について多数要望があった。
- 【日時】 応募期間 平成28年8月1日～平成29年2月28日／審査委員会 平成29年3月17日
- 【場所】 どうなん・追分シーニックバイウエイルート9町、函館・大沼・噴火湾ルート2市4町
- 【主催】 どうなん追分シーニックバイウエイルート運営代表者会議・函館大沼噴火湾ルート運営代表者会議
- 【参加人数】 応募作品数 178点（どうなん75点・函館100点・対象外3点）



どうなん追分SBWR入賞作品

函館大沼噴火湾R入賞作品

審査委員会 3/17開催



# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト  
どうなん追分シーニックdeナイト

【概要】「キャンドルのあかりが繋ぐ道」をテーマに年間通して、主にイベントと併催することで沿道景観づくりの演出をしている。今年度はワックスキャンドル製作会と2月に6町同時開催を行った。エリア内でのシーニックのあかりの活動は認識が高まっており、今後も継続的に活動を実施し、更なるシーニック活動の周知・拡大を目指す。

- キャンドル製作会【日時】平成28年12月18日（日）【場所】木古内保育園【主催】どうなん追分SBW運営代表者会議  
【参加人数】90名（主催者40名 一般参加50名）
- 上ノ国町キャンドル点灯式【日時】平成28年12月24日（土）【場所】道の駅上ノ国もんじゅ【主催】上ノ国町観光協会ほか  
【参加人数】100名（主催者20名 一般参加80名）
- 木古内町みそぎキャンドル【日時】平成29年1月14日（土）【場所】佐女川神社・木古内駅前【主催】木古内町観光協会他  
【参加人数】440名（主催者40名 一般参加400名）
- 6町同時開催【日時】平成29年2月18日（土）【場所】道の駅あっさぶ・奥尻島観光協会・江差追分会館  
道の駅上ノ国もんじゅ・道の駅北前船松前・道の駅みそぎの郷きこない【主催】どうなん追分SBW運営代表者会議  
【参加人数】175名（主催者30名 一般参加145名）



キャンドル製作会



木古内みそぎキャンドル



6町同時開催 奥尻町

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

*Donan-Oiwake Scenic Byway Route*

活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト  
殿様街道探訪ウォーク

【概要】 継続事業として第20回春・第21回秋の殿様街道探訪ウォークを開催。毎回テーマや松前神楽の演目を変えているためリピーターも多い。また、昼食の千軒十割そばはここでしか味わえない一品。上ノ国町では「天の川と戦国時代の山城を訪ねる道」が新日本歩く道紀行100選に指定になるなど、今後、歴史好きの新たな層へのPRも検討。

【日時】 春：平成28年5月1日（日） 秋：平成28年10月23日（日）

【場所】 福島町千軒岳

【主催】 福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会

【参加人数】 春：95名（主催者40名、一般参加55名）

秋：75名（主催者40名、一般参加35名）



殿様街道探訪ウォーク 春



殿様街道探訪ウォーク 秋



松前神楽奏上（毎回演目別）

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：おもてなしガイドプロジェクト  
学習会

【概要】 ルート活動の充実を図るため学習会を定期的に行っているところ、地域のイベントに外国人が参加する等、今後、増加傾向にある事について、第13回学習会では「おもてなしガイドと教育体験観光の各地の現状」を各町の代表が発表し、意見交換、取りまとめを行い、今後の連携、方策についての基礎作りとした。

第14回学習会では「外国人観光客の受入について」北海道運輸局函館運輸支局首席専門官村上氏より講演、説明をして頂き、各地域で行政等の資料を活用する対応策について意見交換をした。

- 第13回学習会 【日時】平成28年6月16日 【場所】松前町公民館 【主催】当ルート  
【参加人数】28名
- 第14回学習会 【日時】平成28年11月30日 【場所】木古内商工会 【主催】当ルート  
【参加人数】39名



江差町花嫁行列に参加する外国人



第13回学習会



第14回学習会

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼び込みプロジェクト  
いにしえ街道のとりくみ

【概要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、今年度の人気は着物を着付けて街歩きやイベント参加をするもので、街並みの歴史・文化を体感できる。その他、職人技術を活かした木工体験等、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。

■江差いにしえ街道花嫁行列【日時】平成28年5月3日（火）【場所】江差いにしえ街道

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】3050名（主催者50名、一般参加3000名）

■江差北前のひな語り【日時】平成29年2月4日～3月20日【場所】江差いにしえ街道・江差一円

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】1600名（主催者200名、一般参加1400名）



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り

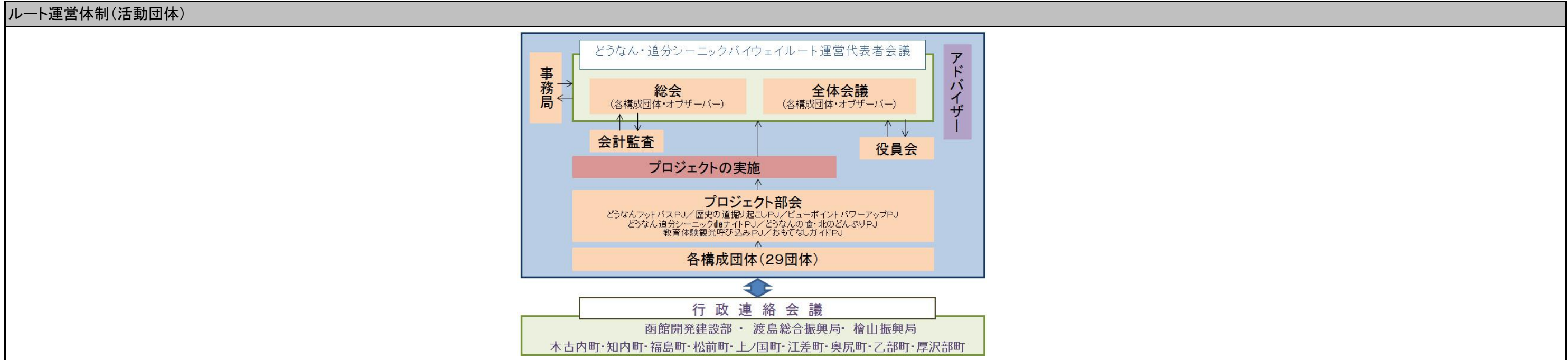


着物着付けでイベント参加

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:どうなん追分シーニックバイウェイルート	報告者:どうなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄	報告年月:2017/3/31
---------------------------	-----------------------------	----------------

活動団体
木古内商工会／木古内町観光協会／咸臨丸とサラキ岬に夢みる会／木古内町駅前中央商店街組合／知内商工会／知内観光協会／フロンティア21／福島町商工会／福島町観光協会 福島町千軒地域活性化実行委員会／かがり火コンサート実行委員会／松前商工会／松前観光協会／江差町歴まち商店街協同組合／江差商工会／江差観光コンベンション協会 江差追分会／追分ソーランラインサイクリング実行委員会／ハートランドフェリー(株)／上ノ国町商工会／上ノ国町観光協会／厚沢部商工会／厚沢部町観光協会 乙部商工会／奥尻商工会／奥尻島観光協会／函館バス(株)／木古内公益振興社／大宇工業(道の駅北前船松前(指定管理者))



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			総会 6/16					全体会議 11/30					
	役員会			第1回 6/13									第2回 3/10	
	学習会・勉強会			勉強会 6/16					学習会 11/30					
	部会												3月10日	
その他			5/27事務局 打合		7/8事務局 打合		9/14事務局 打合		11/15事務局 打合			2/17事務局 打合		

ルート名称:どうなん追分シーニックバイウェイルート	報告者:函館開発建設部	報告年月:2018/3/30
---------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議の実施			6/16 (オブザーバー 参加)					11月30日					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2017/3/31
----------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観 ビュースポットの発信と維持活動	道南エリアルート 四季のフォトコンテスト	平成28年8月1日～平成29年 2月28日(コンテスト応募期 間)	函館開発建設部・函館運輸支局・渡島総合振 興局・檜山振興局・各町自治体ほか	四季のフォトコンテストチラシにおける後援名義の提供、審査委員会の 審査員としての参加を行った。また、ポスター・チラシの掲示等によるP Rを行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。今 後は、行政連絡会議と連携したパネル展の展開が必要。	行政連絡会議のネット ワークを活かしたさらな る活動PR、参加呼びか けを行っていききたい。	A-3
	どうなん追分シーニック清掃 活動 (江差椴川沿清掃活動)	平成28年4月17日 ※シーニック清掃活動 期間4/15～4/29	函館開発建設部・江差町	国道228号沿い江差町椴川で行われた清掃活動に参加。また、 春の全道一斉活動として、HPによる広報を行った。		A-1
	どうなん追分シーニック清掃 活動(木古内R228沿清掃活 動)	平成28年4月24日 ※シーニック清掃活動 期間4/15～4/29	函館開発建設部・木古内町	国道229号沿い江差町椴川で行われた清掃活動に参加。また、 春の全道一斉活動として、HPによる広報を行った。		A-1
	サラキ岬R228沿いチュ リップの植栽活動 (サラキ岬球根掘起し)	平成28年7月31日	函館開発建設部・木古内町	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行われた球根掘起しに参加 および広報支援を実施。更なる人的支援が必要。		A-2
	サラキ岬R228沿いチュ リップの植栽活動(サラキ岬 球根植え)	平成28年10月29日	函館開発建設部・木古内町	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行われた球根掘起しに参加 および広報支援を実施。更なる人的支援が必要。		A-2
	どうなん追分シーニックdeナ イト (キャンドル製作会)	平成28年12月18日	函館開発建設部・函館運輸支局・JAF・木古内 町・上ノ国町	どうなん追分シーニックdeナイトで使用するワックスキャンドルに 必要な牛乳パックの提供と製作会に参加。		A-4
	どうなん追分シーニックdeナ イト(上ノ国町キャンドル点灯 式)	平成28年12月24日	函館開発建設部・檜山振興局・JAF・上ノ国町	上ノ国町道の駅上ノ国もんじゅで行われ行政連絡会議を通じた 活動のPRなど広報支援を実施。更なる拡大に向け参加呼びか けが必要。		A-4
	どうなん追分シーニックdeナ イト(みそぎ祭りみそぎキャン ドル)	平成29年1月14日	函館開発建設部・渡島総合振興局・JAF・木古 内町	木古内町で行われ行政連絡会議を通じた活動への参加および 広報など支援を実施。活動への継続的な参加協力が必要。		A-4
	どうなん追分シーニックdeナ イト (6町同時開催イベント)	平成29年2月18日	函館開発建設部・檜山振興局・JAF・厚沢部 町・奥尻町・江差町・上ノ国町・松前町・木古内 町	国道228号沿いの主に道の駅を主体に6町での「キャンドルのあ かりがたなぐ道」をテーマに開催し広報支援を実施。広域での同 時開催であったため参加への協力体制が確立されていなかった。		A-4

ルート(エリア)運営活動計画方針		平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域	どうなんの「道」の宝探し、歴史・文化をたどる連携と活用	学習会	平成28年6月16日	函館開発建設部、JAF、木古内町、松前町、上ノ国町	ルート代表者会議(総会)と併せて行われた学習会(講話おもてなしガイドや教育体験観光の現状等・意見交換)にルートのメンバーとともに参加。今後、活動に向けルートの意識共有を図っている。	行政連絡会議からの参加をさらに促進し、ルート活動に対して効果的なサポート行っていきたい。	B-2
	交流人口を高める人材の育成	学習会	平成28年11月30日	函館開発建設部、函館運輸支局、檜山振興局、JAF、林野庁北海道森林管理局、木古内町、知内町、松前町、福島町、上ノ国町	ルート代表者会議(全体会議)と併せて行われた学習会(外国人受入れ対応)での講演を実施するとともに、今後、活動に向けルートの意識共有を図っている。		B-2
	情報共有と情報受発信の相乗効果	FB(SNSの活用)	随時	函館開発建設部・函館運輸支局・渡島総合振興局・檜山振興局・各町自治体ほか	情報共有を図りながら情報の発信による活動支援。		-
		シーニックバイウェイ北海道 どうなん・追分シーニックバイウェイルート&函館・大沼・噴火湾ルート 現地視察	平成28年6月4日(土)~5日(日)	函館開発建設部	シーニックバイウェイ北海道 どうなん・追分シーニックバイウェイルート&函館・大沼・噴火湾ルート現地視察に対応。		-
観光	北海道新幹線に向けた対応と取組	-	-	-	-	行政連絡会議のネットワークを活かしたさらなる活動PR、参加呼びかけを行っていきたい。	-
	地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり	学習会	平成28年6月16日	函館開発建設部、JAF、木古内町、松前町、上ノ国町	ルート代表者会議(総会)と併せて行われた学習会(講話おもてなしガイドや教育体験観光の現状等・意見交換)にルートのメンバーとともに参加。今後、活動に向けルートの意識共有を図っている。		B-2
		学習会	平成28年11月30日	函館開発建設部、函館運輸支局、檜山振興局、JAF、林野庁北海道森林管理局、木古内町、知内町、松前町、福島町、上ノ国町	ルート代表者会議(全体会議)と併せて行われた学習会(外国人受入れ対応)での講演を実施するとともに、今後、活動に向けルートの意識共有を図っている。		B-2
	各地域の観光イベントの連携	どうなん追分シーニックdeナイト(6町同時開催イベント)	平成29年2月18日	函館開発建設部・檜山振興局・JAF・厚沢部町・奥尻町・江差町・上ノ国町・松前町・木古内町	国道228号沿いの主に道の駅を主体に6町での「キャンドルのあかりがたぐ道」をテーマに開催し広報支援を実施。広域での同時開催であったため参加への協力体制が確立されていなかった。		A-4